

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立三瀬中学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上の成果指標に対する取り組みでは、中学部独自の校内研究会を実施して、各教科の取り組みを確認しつつ、優れた取り組みは共有する。 コロナ禍であったために、これまでの取り組みや学校行事の見直しをするきっかけとなった。「生徒のために」考える事ができて、効果的な取り組みができるようになり、そのことが業務改善にもつながった。今後も見直していきたい。 家庭学習の充実を図るために、課題の系統を考えて、学期単位で考えて実践をすすめていきたい。さらに充実するように各教科の課題の中身についても考えていきたい。
------------------	--

2 学校教育目標	ふるさとを愛し、自信と誇りをもち、未来を拓く子どもの育成
----------	------------------------------

3 本年度の重点目標	①9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の取り組み ②学力の向上と自己教育力の育成 ③一人ひとりを大切にする教育の推進 ④豊かな心・健やかな体を育む教育の推進 ⑤国際化・情報化に対応した教育の推進 ⑥教師の資質向上と働き方改革
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○家庭学習の定着と充実 ○考え・伝え合う学びの場の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上にする。 ・定期テスト前の家庭学習時間を3年生3時間以上、1・2年生2時間以上の割合を80%以上にする。 ・課題の提出率を90%以上し、家庭学習の充実を図る。 ・基礎学力の定着(県学力調査、おおむね達成基準到達70%以上) ・授業では、考え、伝え合う言語活動を行うことができたと答える生徒を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに見直しを行い、各教科担当の成果指標を達成する。 ・定期テスト前の「学年+1時間」の家庭学習を目標設定と計画的な家庭学習をさせ、充実させる。 ・曜日ごとの教科担当による自主学習ノートの取り組みの工夫と助言を行う。 ・三瀬校授業スタイルの共有と実施、学び合いを取り入れた授業づくりを行う。 ・授業と場の工夫をし、思考を働かせる活動や対話的な活動を確保する。 			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの未然防止、早期発見、早期対応体制の充実 ○人権・同和教育、特別支援教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態や地域の課題に応じた指導内容を工夫し、道徳の時間を充実させた上で「道徳や学級活動は充実している」の設問に肯定的な回答をする生徒を90%以上にする。 ・生徒一人一人が持つ問題や悩みを気軽に相談できる教育相談環境を構築する。特に、アンケートの充実を図る。 ・学校は楽しいと答える生徒を90%以上にする。 ・人権・同和教育を正しく理解し、いじめ、差別や偏見のない社会を築く資質を育てる。 ・人権・同和教育や特別支援教育の大切さに対し、理解ができたと回答した生徒80%以上。 ・特別支援教育の充実を図る取り組みについて肯定的な回答をした教員の割合を90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書外の地域教材や自作資料を、教科書の内容と関連させながら道徳の授業に積極的に取り入れる。 ・ふれあい活動やボランティア活動を各学期に設定する。その内容や振り返りを通信等で発信し、保護者と共有する。 ・定期教育相談を年2回実施する。気になる生徒については全職員で共有し、必要に応じてSC等に繋げる。 ・毎月生活アンケートを実施し、生徒が抱える問題や悩みを早期に発見・対応する。 ・SSWやSC等との連携を強化し、ケース会議を行いながら、職員の共通理解を図る。 ・毎月1回人権集会を開き、教師による講話を実施する。 ・教師の高い人権意識により、生徒指導や各学級での指導にあたる。 ・社会科担当と学級担任の連携を図り、臆称語や差別について正しく理解させる。 ・特別支援教育校内研修会を年間5回開催する。 							道徳教育推進教師
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「安全に関する資質・能力の育成」 	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝食を食べて登校する生徒」を90%以上、歯科・眼科の受診率を50%以上にする。 ・「健康に食事は大切である」と考える生徒を80%以上にする。 ・児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ・ハザードマップを提示し、講師を招いた避難訓練を実施し、安全を確保するための判断力を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい食事の仕方や生活習慣を、家庭と連携して身につけさせる。 ・朝食を食べて登校するように指導する。歯科や眼科への受診依頼に担任も関わる。 ・登下校では、交通マナーを守り、蛍光たすきを身につけさせる。 ・ハザードマップの提示や講師を招いた避難訓練を実施し、安全を確保するための判断力を育てる。 							保健主事 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。 ・ひと月当たりの時間外在校時間が45時間を超える割合を10%以下にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デー、定時退勤日を設定(毎週水曜日)し遂行する。 ・業務データの一元化による校務の効率化。 ・個人の業務内容の見直しと自己マネジメント力の向上。 							教頭

(2)本年度重点的に取り組む①効果的な業務の遂行
 ・全教職員が業務改善の目標を立てる。・働・人事評価表に業務改善の目標を設定し、達成させる。・全教職員が業務改善の目標を立て実践することはできた。・全教職員が業務改善の目標を立て実践することはできている。職員室も働きやすい環境になるように徐々に変えている。

(2)本年度重点的に取り組む①効果的な業務の遂行				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				◎志を高める教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと三瀬への郷土愛の育成 ○環境教育への関心の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・三瀬村の自然・人・ことに着目して体験活動を通して再発見させ、郷土愛を高める。(アンケートで三瀬を誇りに思うと答える生徒を80%以上にする) ・環境教育について意識を高め、環境ISOに全校で取り組む。(アンケートで環境ISOを行ったと答える生徒を90%以上にする) ・地域の交流事業等に積極的に関わり、生徒の社会的視野を広げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などで自分の係の目標や個人目標を立てさせ、その後、振り返りをさせ、評価をすることで、自己肯定感を高める。 ・三瀬の自然や生活、社会とかかわる体験活動について、計画・体験・まとめ・振り返りの活動を行い、生徒の主体性を育てる。 ・生徒会を中心に学期ごとに環境教育について再確認し、年度末に環境ISOの実践報告を行う。 ・地域の交流事業等に積極的に関わり、生徒の社会的視野を広げさせる。 			
○小中一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ○小中合同行事の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中合同の行事、体験活動が「自分のためになっている」という生徒の割合を90%以上にする。 ・小中の学びの過程、学習の規律を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事、体験活動を通主体的に企画・運営を行う場と機会を設定する。 ・校内研修を通して、小中連携の視点を設定し、振り返りのあり方や指導と評価についてを話し合う。9年間を見通した学習面および生活面の連携方法として、表に示し、徹底を図る。 							教務主任

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--